

二六五五番

紅くれなるの 裾すそび引く道みちを 中なかに置おきて 我われや通かよはむ
君きみか来きまさむ

二六五六番

天あま飛とぶや 輕かるの社やしろの 齋いはひ槻つき 幾いくよ代よまであらむ
隠こもり妻つまそも

二六五七番

神かむ奈な備びに ひもろき立たてて 齋いはへども 人ひとの心こころは
守まもりあへぬもの

二六五八番

天あま雲くもの 八や重へくも雲がく隠り 鳴なる神かみの 音おとのみにやも
聞きき渡わたりなむ